



Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市

子どもの笑顔が
あられるまち
かわさき

令和3年度かわさき教師塾

☆『明日の先生日記』☆

11月20日(土) 着任時に求められる「授業を計画する力」に関する講義、授業づくりの実際として指導案の作成と模擬授業を行いました。

令和3年11月20日(土) 日程

- 10:05 学習指導要領とよりよい授業づくり
- 11:05 授業づくりの基本
- 11:35 今、教員に求められていること
- 12:00 ~昼食・休憩~
- 13:00 学習指導案の作成と模擬授業
- 14:15 全体指導助言
- 14:25 振り返り・事務連絡 14:30 終了

子どもたちが「楽しい! またやりたい!」と感じるような授業をめざしたい。



課題3

鶴を折ることを授業に例えるなら、①と②のどちらの展開を選びますか?

- ①知識・技能を重視
 - ・鶴を折る手順を教える
 - ・全員で確認しながら折ってみる
 - ・きれいな鶴ができる
 - ・折り方を振り返り、折り方について考える
- ②思考力・判断力・表現力等を重視
 - ・鶴の折り方を考える
 - ・協力しながら、折り方を考える
 - ・様々な鶴ができる(できない)



良い授業には授業づくりが大切で、教材や板書、子どもの実態に合わせるなど、意識しなければいけないことは多いが、その分良い授業ができた時の達成感はずごくあると思いました。

教師が楽しんで授業
をすることが大切

良い授業とは何か...一番大切なことは、よく生徒のことを見て、子どもの心を理解しようとし続けることだと強く思った。



授業のベースになるもの

- 信頼関係
- 学級経営
 - ⇒あたたかな雰囲気があるか。
 - ⇒お互いを認め合う
 - ⇒一人ひとりの居場所



何が大切なんだろう? どんな順番で授業を考えていけばいいのかな?



- | | | | |
|-----|------|---------|------|
| 板書 | 資料 | 実態 | 単元計画 |
| 導入 | 発問 | 個に応じた指導 | |
| 評価 | 見取り | 話し合い | |
| 問返し | 既習事項 | など | |

模擬授業では、自分の授業を客観的に見てもらい、意見をもらうことは貴重で大切な機会だと思いました。自信は持てずとも機会をどんどん利用していくべきだと感じました。

「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、「子ども」が主語になるように授業展開をする。子どもの実態を理解し、背景やサインを見逃さないよう、見る努力が必要だと思う。



間違いを認められる授業



指導案づくりでは、単純な呼びかけではなく、生徒自身に自由に発言させるなどの方法を組み入れた。まだまだ改善すべき点があるので、教材研究をしっかりとやっていきたい。



午後に行われた「学習指導案の作成と模擬授業」での学びを参考にして指導案を作り直してきた受講生たちから、12月18日(土)に指導案を預かりました。直接、教科の指導主事から指導・助言を受けていた受講生から、「授業についてのイメージや教員自身の英語力について聞くことができ、もっと頑張っていこうと思った。」といった頼もしい言葉を聞けました。